



校長 前田 倍成

4月13日以来、実に1か月半ぶりに全学年が登校し、通常日課での学校生活が一スタートしました。学校再開にあたっては、不安を感じている子、保護者・地域の方々も少なくないのではないかと考えます。学校では、子どもたち・教職員の「安全」、そして保護者・地域の方々の「安心」を第一に考え、できる限りの工夫をしてみたいと思います（志賀小学校学校運営の工夫や前回の学校報等を参照ください）。その上で、子どもの学習保障をはじめとする教育活動を推進してみたいと思います。

再開とはいえ、他県・本県での状況等を踏まえ、気を緩めることなく取り組むとともに、心の面からも子どもの小さな変化を見逃さないよう、より多くの目で見取っていくよう努めてまいります。

—— 「登校再開初日に」 ——

【登校の見守り】

再開初日から地域の方々の見守りボランティアがありました。コロナ感染と同じくらいに交通安全にも気をつけるよう子どもたちには指導しておりますが、地域の皆さんのお力は大変心強い限りです。本当に有り難うございます。

【テレビ放送による全校集会】

再開初日、テレビ放送を通してではありましたが、子どもたちには改めて感染防止の基本的な取組（①人との間をあける ②マスクをする ③こまめに手洗いをする）が自分たちを守ることになること、感染にかかわっての偏見や差別、いじめ、からかいなどは決して許されないことであることを話しました。各学級でも担任の先生から指導を行いました。

【委員会活動も始動！】

放送委員会、図書委員会など各種委員会が始動しています。子どもが主体的に取り組み自己有用感を感じる場としてもとても大事な活動です。これからもしっかり取り組んでいきましょう。



↑ 図書委員会

↓ 放送委員会

【清掃活動も始まりました】

できるだけ人との接触を減らすという意味で、これまでのような縦割り清掃は当面行わず、各学年、クラス単位で掃除場所を割り振り、清掃活動を始めています。

もちろん、活動開始・終了時の手洗いをしっかりと行うよう指導を続けています。

右の写真は、玄関ホール清掃の様子です。



—— 「いつもありがとうございます」 ——

【授業の様子 ～ 2年生生活科 ミニトマトの苗植え】



友だちとの間をあげながら観察する2年生

分散登校時でしたが、みんなとてもしっかりと苗植えができました。また、植えたミニトマトの苗をじっくりと観察・記録しています。

実は、子どもたちが植えた土は、学校評議員でもある細川宗宏さんに、忙しい合間を縫って肥料等を配合していただいた土です。

本来であれば「地域の先生」としてお招きし、直接子どもたちに教えてい

ただくのですが、今般の状況からこのような形でお力添えをいただくことになりました。本当にありがとうございました。子どもたちはこれからのミニトマトの成長をととても楽しみにしながらお世話を続けています。

【きれいなお花をいただきました】



例年、特別支援学級の学習活動等で生け花を教えていただいている加藤かず子さんから大変きれいなお花をいただきました。上記の細川さん同様、今般の状況でやむなく活動を控えさせていただいていますが、いつかまたお願いいたします。

本当にありがとうございました。

【マスクを寄贈いただきました】

ボランティアサークルの「かんかん娘」さんが、学校に役立ててほしいと、町教委に2000枚のマスクを寄贈されました。その中から本校にもいただきましたので、子ども一人一人に1枚を配付したところでした。ご活用ください。

本当にありがとうございました。

—— 保護者のみなさまへのお願い ——

北九州市で起きている小学校でのクラスター発生は、対岸の火事とは思えません。これまでも保護者のみなさまには、朝の健康チェック等ご協力いただいております。しかし緊急事態宣言解除後に少しずつ緩みが…との声も聞こえてきます。

今後もできる限り「3密が発生するような可能性がある場所への出入りを避ける」「もしも発生したときのために、できるだけどこで誰と会ったかなど行動の記録を残しておく」等、ご理解とご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。